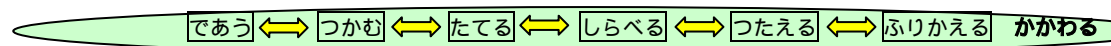
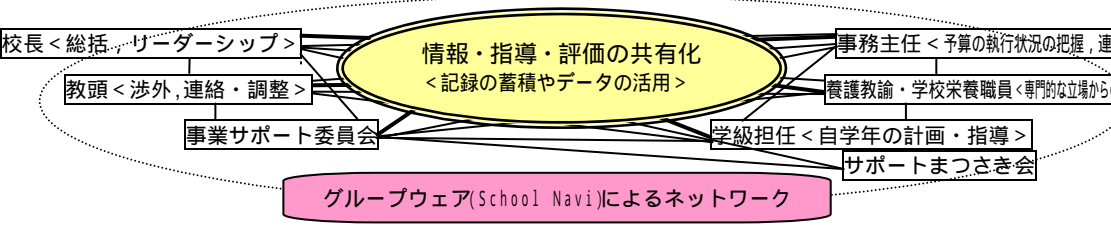


やる気！元気！総合的学習支援事業 実施計画書

1 実施計画

実施年度（平成15年度）

学校名	畑野町立松ヶ崎小学校		所在地	佐渡郡畑野町大字多田139番地 TEL 0259(67)2151																			
			校長名	有田 一正																			
学級数	4	児童生徒数	1年生 3名	2年生 3名	3年生 7名	4年生 2名	5年生 4名	6年生 5名	計 24名														
児童生徒の指導方針	児童の実態と課題 当校は全校児童数24名の複式・特殊4学級の小規模学校であり、少人数を生かし、一人一人の学習実態に合ったきめ細かな指導を行っており、学習面での基礎・基本の定着はしっかりと図られている。しかし、次のような実態が見られる。 一方、保護者や地域住民が、地域の児童に寄せる期待は大きい。「積極的に行動できるようになってほしい」「地域のよさを大切にしてほしい」という願いがある。 そこで、当校の総合的な学習の時間「松っ子」では、次のことを課題として2年次も取り組んでいく。 確かな学びの中で、身近な自然・社会・人々とかかわりを通して、自ら学ぼうとする子どもを育成すること。 低学年においても、自分の生活や役割、行動の仕方を考えて、身近な自然や人々とかかわれるよう動植物や友だち、家族との体験的活動を重視していく。 目指す姿と育てたい力																						
	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">総合的な学習の時間「松っ子」 自ら学ぼうとする子どもの育成</th> </tr> <tr> <th>姿</th> <th>意欲と行動力にあふれる子ども</th> <th>学び方を身に付ける子ども</th> <th>進んで表現する子ども</th> <th>自分を見つめる子ども</th> </tr> <tr> <th>力</th> <td> つかむ力 ・意欲をもつ ・課題を発見する ・計画を立てる かかわる力 ・自然や人とかかわる ・協力して学習する </td> <td> 調べる力 ・話を聞き取る ・文章を読み取る ・取材する ・観察、実験、体験する ・情報を集め、選択する ・情報機器やコンピュータを活用する </td> <td> 進んで表現する力 ・まとめで伝える力 ・調べたことを再構成する ・記録する ・資料を作る ・発表する ・プレゼンテーション ・絵や図に表す </td> <td> 自分を見つめる力 ・振り返る力 ・自己評価する ・相互評価する ・自分の在り方、生き方を見つめる </td> </tr> </table>									総合的な学習の時間「松っ子」 自ら学ぼうとする子どもの育成				姿	意欲と行動力にあふれる子ども	学び方を身に付ける子ども	進んで表現する子ども	自分を見つめる子ども	力	つかむ力 ・意欲をもつ ・課題を発見する ・計画を立てる かかわる力 ・自然や人とかかわる ・協力して学習する	調べる力 ・話を聞き取る ・文章を読み取る ・取材する ・観察、実験、体験する ・情報を集め、選択する ・情報機器やコンピュータを活用する	進んで表現する力 ・まとめで伝える力 ・調べたことを再構成する ・記録する ・資料を作る ・発表する ・プレゼンテーション ・絵や図に表す	自分を見つめる力 ・振り返る力 ・自己評価する ・相互評価する ・自分の在り方、生き方を見つめる
	総合的な学習の時間「松っ子」 自ら学ぼうとする子どもの育成																						
	姿	意欲と行動力にあふれる子ども	学び方を身に付ける子ども	進んで表現する子ども	自分を見つめる子ども																		
	力	つかむ力 ・意欲をもつ ・課題を発見する ・計画を立てる かかわる力 ・自然や人とかかわる ・協力して学習する	調べる力 ・話を聞き取る ・文章を読み取る ・取材する ・観察、実験、体験する ・情報を集め、選択する ・情報機器やコンピュータを活用する	進んで表現する力 ・まとめで伝える力 ・調べたことを再構成する ・記録する ・資料を作る ・発表する ・プレゼンテーション ・絵や図に表す	自分を見つめる力 ・振り返る力 ・自己評価する ・相互評価する ・自分の在り方、生き方を見つめる																		
基本方針と活動内容 ・地域の自然・社会・人々とかかわる活動を主軸として、問題解決型の学習過程を基本にしなが、学習を展開していく。 																							
・地域の人材や地域の環境について、積極的に活用を図りながら、子どもたちが対象に思いっきりかかわる場と時間を確保し、自分の課題やめあてを追究できるように2年次も指導する。 ・衛星通信によるテレビ衛星会議システムや高速インターネット、WEBページでの発信などITの積極的な活用を図る。 ・知のネットワークを推進し、ポートフォリオ法やイメージマップ・ウェビング法などを活用した評価方法を工夫する。																							
<table border="1"> <tr> <th>学 年</th> <th>テーマ（B年度） <平成15年度></th> <th>ひとつづくりの方向</th> <th>主な取組や活動内容（B年度）</th> </tr> <tr> <td>中学年</td> <td>「発見・発信!松ヶ崎の自然」</td> <td>地域に生き、地域を愛</td> <td>地域の自然などの調査・課題追究活動</td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td>「松ヶ崎、過去・現在、そして未来へ」</td> <td>するひとつづくり</td> <td>地域の生きる人々の調査・課題追究活動</td> </tr> </table>									学 年	テーマ（B年度） <平成15年度>	ひとつづくりの方向	主な取組や活動内容（B年度）	中学年	「発見・発信!松ヶ崎の自然」	地域に生き、地域を愛	地域の自然などの調査・課題追究活動	高学年	「松ヶ崎、過去・現在、そして未来へ」	するひとつづくり	地域の生きる人々の調査・課題追究活動			
学 年	テーマ（B年度） <平成15年度>	ひとつづくりの方向	主な取組や活動内容（B年度）																				
中学年	「発見・発信!松ヶ崎の自然」	地域に生き、地域を愛	地域の自然などの調査・課題追究活動																				
高学年	「松ヶ崎、過去・現在、そして未来へ」	するひとつづくり	地域の生きる人々の調査・課題追究活動																				
学校の推進体制づくり	学校体制での取組 児童の多様な調査・課題追究活動を支えるため、情報・指導の共有化を図り、全校を挙げて総合的な学習の時間「松っ子」を推進する。評価については、各節ごとに的確に行い、次の活動に生かしていく。 																						
	事業サポート委員会の組織化と人材バンクの整備・活用 教職員、保護者とともに、松ヶ崎地域の活性化に取り組む「地域開発21委員会」「松夢会」や地区の育成団体などの代表者をもって、事業サポート委員会を組織した。事業サポート委員会からは、今年度も総合的な学習の時間「松っ子」について、計画だけでなく実際に児童の活動（授業）などの参加を通して、意見や助言を得ていく。 地域の全戸に学校だよりや教育活動実践報告集を配布したり、WEBページで発信したりと、学校の教育方針や教育実践の広報活動を行ってきた。地域の人材の発掘や今までに指導してくれた方々のデータを蓄積し、人材バンクの整備をさらに進めていく。人材バンクをもとに立ち上げた「サポートまつさき会」を生かし、地域の伝統文化の伝承、専門的な知識・技能の指導などの面から児童の多様な調査・課題追究活動が支援できるよう活用を図っていく。また、児童の調査・課題追究活動に必要な地域内外の専門機関や関係機関の登録を今年度も行い、活用できるようネットワークを構築していく。 学校内外（教職員、児童、保護者、事業サポート委員会など地域住民）により、学校評価の一環としての総合的な学習の時間の事業評価を行う。																						
地域の教育力の高揚	事業サポート委員会をはじめ、松ヶ崎地域の活性化に取り組む「地域開発21委員会」「松夢会」や地区の社会教育に携わる公民館、地区青少年健全育成懇談会、地域の子供会などとの連携から、地域の教育力の高揚を図るため、今年度も次のことに努める。 ・学校の諸活動について、保護者、保護者OB、地域の方に案内状を出し、一般公開し、地域の子どもたちの様子を知ってもらうとともに、地域の子どもたちの育成、学習環境づくりのためにそれぞれ何ができるか話し合えるよう場と機会を設定する。 ・「地引網体験教室」「子ども鬼太鼓発表会」など学校と地域の団体が共催で教育的な活動を企画・運営していく。 ・学校職員が地域の団体が主催する活動に進んでより一層参画して、地域の教育力の充実に寄与する。																						